

私は八月七日、救援班に加わって  
一番先に産業奨励館に行った。

自慢の丸天井は、瞬時に崩れ落ち、  
ドームの骨組みだけが残っていた。  
それは、イバラの冠のように見え、  
階段は血の海。

日本刀は赤く焼けただれていた  
(これが、のちの原爆ドームである)。

これは、新型爆弾だと思った。  
いたるところ、人間の死体が  
累々と横たわっている。

重傷者は数限りなく倒れている。  
人々を收容し、行けども行けども  
限りなく続く。

細谷勝一さんの体験記より

しまっではいけない記憶

被爆60周年 広島・長崎共同企画展

# 体験記にみる 被爆の実相

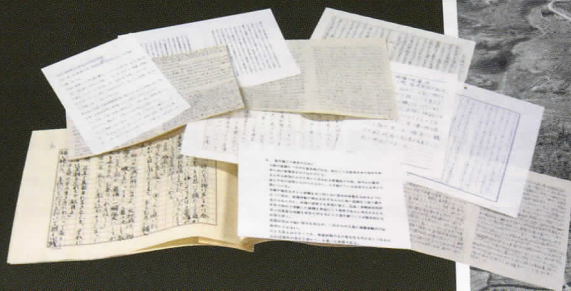
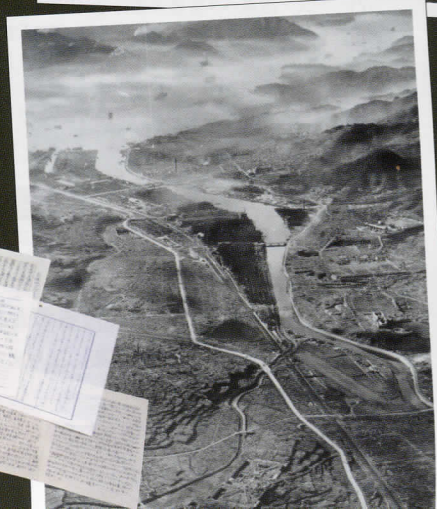
期 間 平成 17年 7月8日(金) — 9月30日(金) 期間中 休館日なし

展示会場 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館 研修室

時 間 8:30~18:00 (8月は~19:00)

**入場無料**

写真上:原爆ドーム周辺(撮影:米軍/提供:広島平和記念資料館)  
写真右上段:広島のをのこ雲(撮影:米軍)  
写真右下段:被爆後の長崎市(撮影:H.J.ピーターソン/提供:長崎原爆資料館)  
写真下:広島祈念館に寄せられた被爆体験記





辺り一面焼け焦げた異臭と、吐き気を覚える腐乱した死臭で気が遠くなりそうだった。数え切れない丸太の木材が、黒焦げのようになって折り重なった死体が、所狭しと散乱している。男女の区別は全くわからない。どれが二中の生徒なのか、まして氏名など確認しようもない。この地には家屋の疎開作業で広島二中1年生以外に、県立女学校、市立女学校、・・・など、低学年生徒が多数参加していたと聞く。一瞬約7千度余の熱と衝撃波に焼かれ、打ちのめされたのだろう。遠方からわが子の安否を案じて駆け付けられた身内の泣き叫ぶ声、わが子とも確認出来ぬ遺体を抱きかかえながら、我が子の名を呼び、泣き叫ぶ母親、狂乱状態で遺体から遺体を抱き起こしては確認している身内。

植松基さん(広島被爆)の体験記より

空襲や戦災、そして原爆を全く知らない世代が多数を占めるようになった現在、被爆体験の風化を防ぎ、あんなに惨い悲劇を二度と繰り返させぬために、被爆の悲惨さを率直に訴え、広島・長崎両市民が世界で初めて体験した被爆を最初にして最後であらしめるためにも、我々は貴重な体験を後世に声を大にして語り継ぐことが歴史的にも必要と思う。

池田実さん(長崎被爆)の体験記より



広島市と長崎市に開設された国立原爆死没者追悼平和祈念館には、両館あわせて10万編を超える被爆体験記が寄せられています。被爆60周年を迎えるにあたり、広島・長崎の両祈念館では協力して、これらの体験記を中心に原爆被害の実像に迫る特別企画展を開催することにしました。体験記には原爆を直接体験した人しか書くことのできない真実や心情がしたためられており、一つ一つの体験記を読んでいくことで、原爆がもたらした被害の甚大さが改めて浮かび上がってきます。思い出すのもつらい出来事を体験記に綴った被爆者の心の底には、核兵器の恐ろしさを伝えたい、世界平和を訴えたいという強い思いがあります。この展示を通じてその「思い」を汲みとっていただければ幸いです。

#### 【開館時間】

3月～11月……8:30～18:00(8月は8:30～19:00)  
12月～2月……8:30～17:00

【休館日】 年末年始(12月29日～1月1日)

#### 入館無料

#### 【交通案内】

JR広島駅(南口)から(約20分)

- ・バス/広島バス吉島方面行で「平和記念公園」下車
- ・市内電車/紙屋町経由広島港(宇品)行で「本通り」下車  
宮島口・江波行で「原爆ドーム前」下車

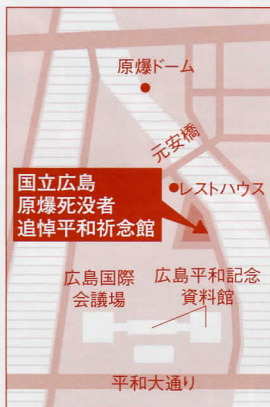
JR横川駅から(約10分)

- ・市内電車/広電本社前行で「原爆ドーム前」下車

#### 【お問い合わせ】

### 国立広島原爆死没者追悼平和祈念館

〒730-0811 広島市中区中島町1番6号 TEL:082-543-6271 FAX:082-543-6273 ホームページ:<http://www.hiro-tsuitokinakan.go.jp/>



当館では、被爆体験記と原爆死没者のお名前・遺影を収集し、公開しています。企画展では、被爆体験記を中心に、当時の写真、関連する資料などを展示し、原爆被害の全体像に迫ります。被爆体験記や原爆死没者の遺影をお寄せください。ご遺族の皆様のご協力をお願いいたします。